

高圧ポンプユニット

IKE 40C シリーズ

取扱説明書

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をよく読み、正しく安全に使用してください。
また、お読みになった後はいつでも見られる場所に保管してください。

なお、品質、性能向上、その他の事情で部材の変更を行うことがあります。
その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

— 目次 —

安全上のご注意	・・・1～3
1 各部名称	・・・4～7
2 ご使用前の準備	・・・7～12
3 ご使用方法	・・・12～15
4 保守・メンテナンスについて	・・・16～17
5 故障かな？と思ったら	・・・18
6 仕様	・・・19

安全上のご注意

本書では、ご使用者への危害や損害を未然に防ぐための注意事項を「警告」と「注意」に分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性があります。



注意を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

















この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。




















この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



-  幼児が遊んだり直接触れたりする環境では使用しないでください。感電やけがの原因となります。
-  本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因となります。
-  不安定な場所（傾斜のある場所や凹凸のある場所、落下の危険性がある高所など）に設置しないでください。転倒や落下により、けがや機器破損の原因となります。
-  本取扱説明書に記載のない製品および部品の分解、改造は絶対にしないでください。異常作動による火災や感電、けがなどの原因となります。
-  指定の電源以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
-  電源ケーブルの無理な曲げ、引張り、ねじることはしないでください。断線して火災や、感電の原因となります。
-  火気の近くや高温の場所に設置しないでください。感電や漏電の原因となります。
-  異常（異音・異臭・異常振動など）が生じた際には直ちに運転を停止し、元電源を落としてください。火災や感電、けがなどの原因となります。
-  下記の条件や環境で使用する場合は、安全対策へご配慮いただくとともに、弊社へご連絡くださいますようお願いいたします。
 - ・ 明記されている仕様以外での条件や環境での使用。
 - ・ 公共の安全に係わる用途への使用。
 - ・ 特に安全が要求される用途への使用。
-  必ずアース線を接続してください。火災や感電、故障のおそれがあります。
-  清掃、保守、点検作業の際は、必ず電源を切ってください。感電のおそれがあります。
-  他の機器や製品が置いてある場所へ設置する場合は、ドレンパンなどを使用してください。本機が漏水すると、周囲の機器や製品を濡らしてしまうおそれがあります。
-  ポンプ運転中は大きな騒音が発生します。長時間さらされると聴覚障害の原因となるおそれがありますので、作業時は耳栓などの適切な保護具を使用してください。
-  蒸気のある場所および湿度の高い場所での使用は避けてください。感電の原因となります。

注意

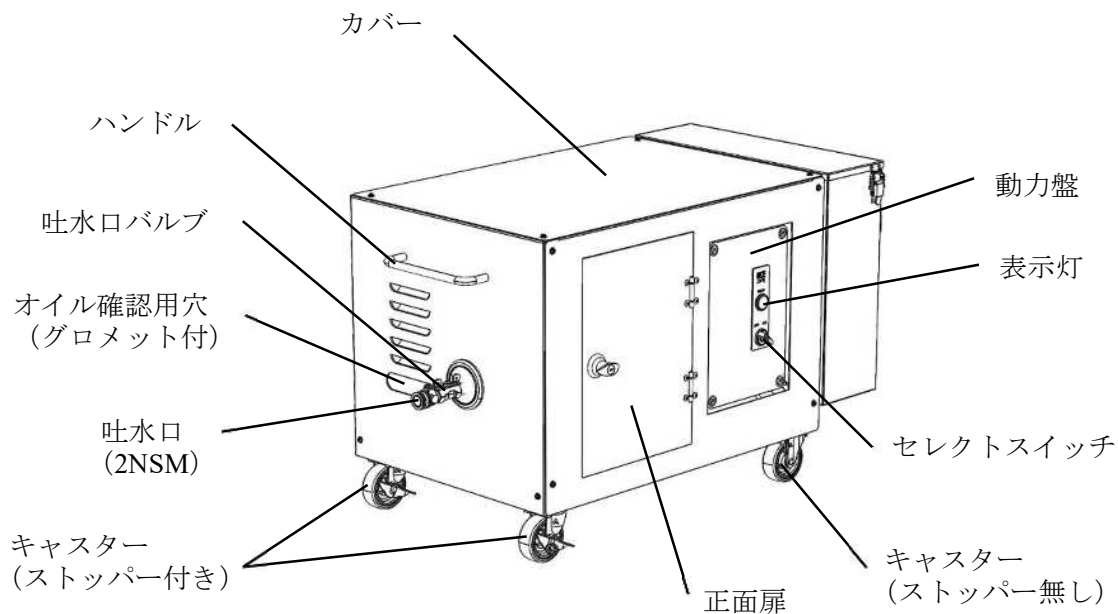
-  30℃以上の水を使用しないでください。機器破損の原因となります。
-  運転中、ポンプはかなり高温になりますので、手や体で触れないでください。やけどのおそれがあります。
-  可燃性、爆発性ガスがある場所での使用はしないでください。爆発や火災の原因となります。
-  ゴミ、ホコリの多い場所での使用はしないでください。過熱事故やポンプ損傷の原因となります。
-  本機を直射日光の当たる場所に設置しないでください。また、通風を妨げるような障害物や可燃物を周囲に置かないでください。異常な温度上昇により、やけどや機器破損の原因となります。
-  放置または移動する場合は、電源を入れないでください。
-  水道水以外は使用しないでください。薬品・有害物質などが含まれると、事故や健康被害の原因となるおそれがあります。
-  必要以上に頻繁にポンプを運転・停止しないでください。製品寿命を早める可能性があります。
-  吐出側バルブを締め切るなどの全閉状態で10秒以上ポンプを運転しないでください。ポンプが短時間で発熱し、やけどするおそれがあります。
-  最低流量以下でポンプを運転しないでください。ポンプが短時間で発熱し、やけどするおそれがあります。
-  屋外で使用しないでください。故障の原因となります。
-  水抜き用途以外での空運転はしないでください。故障の原因となります。
-  本機を持ち上げる場合は、手袋を装着してください。また、ハンドルや給水タンクではなく、架台を持ってください。手挟みや落下により、けがをするおそれがあります。
-  定期的に点検してください。少しでも異常や破損を発見した場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。
-  環境温度が5℃～40℃の範囲で使用してください。また、凍結しないよう十分注意してください。機器破損の原因となります。
-  越流口に配管を接続してください。給水タンクから水が溢れるおそれがあります。
-  配線部にホコリが付いている場合は、乾いた布で取り除いてください。漏電、ショートによる火災の原因となります。

1. 各部名称

ポンプユニット

【外観】

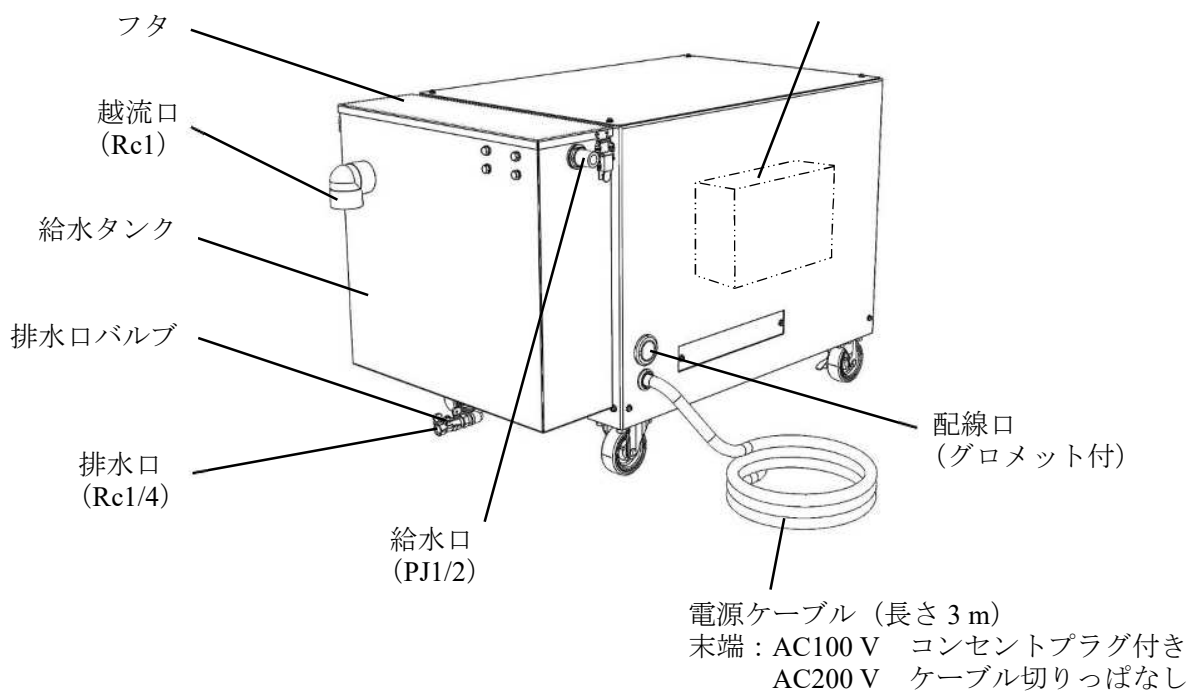
正面



背面

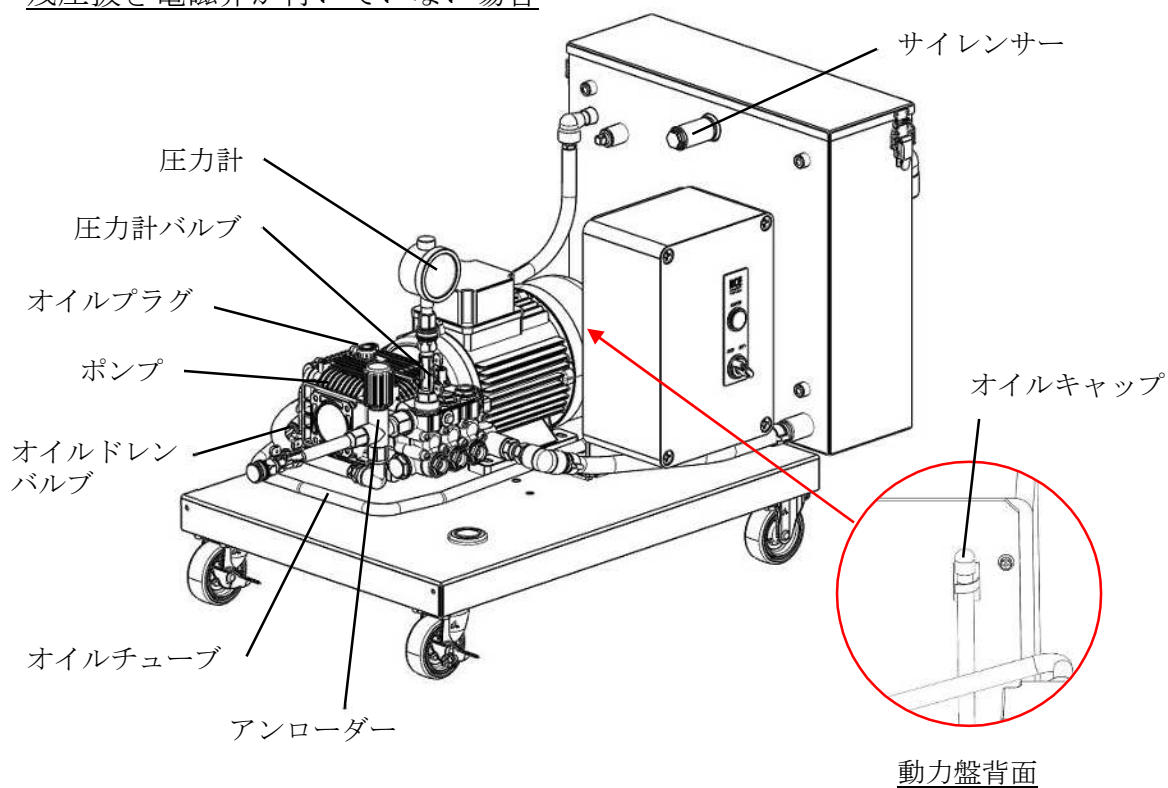
ノイズフィルターボックス

※IKE40Cの残圧抜き電磁弁付きには背面にノイズフィルターボックスが付属します。電源ケーブルはノイズフィルターボックスから出ていますので、そのままご使用ください。

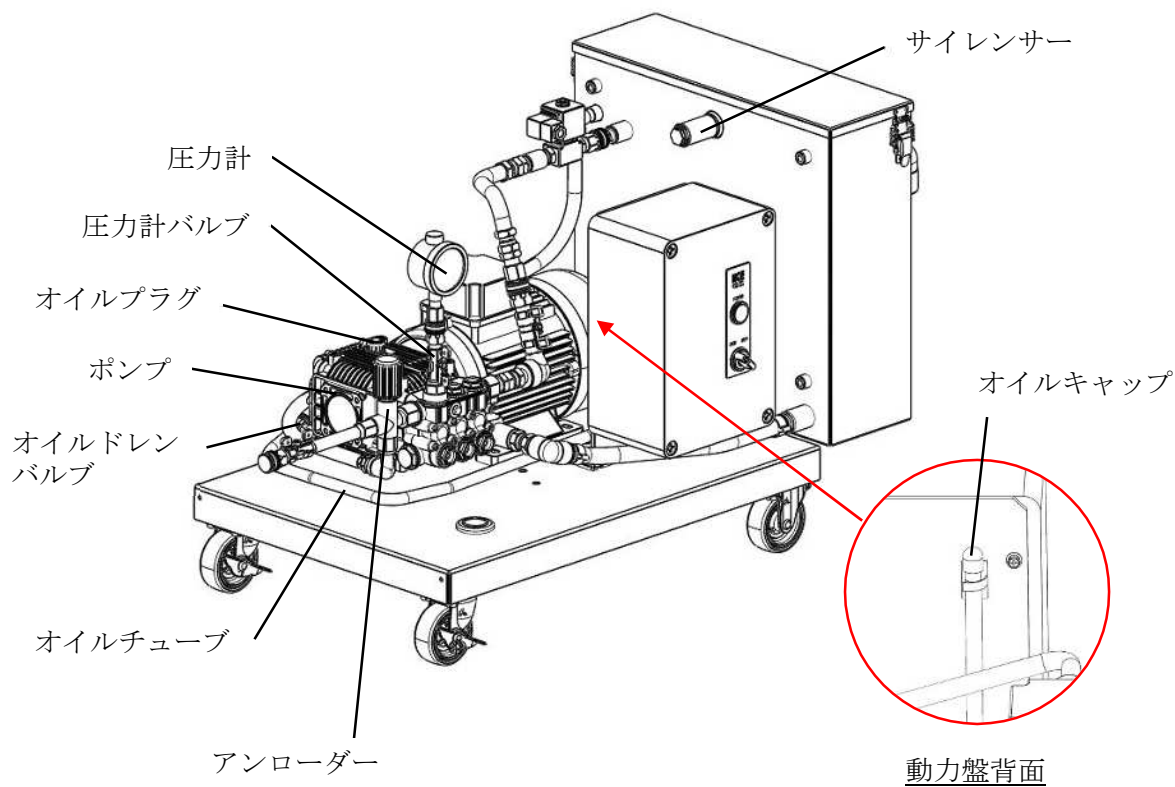


【ポンプユニット内部】

残圧抜き電磁弁が付いていない場合

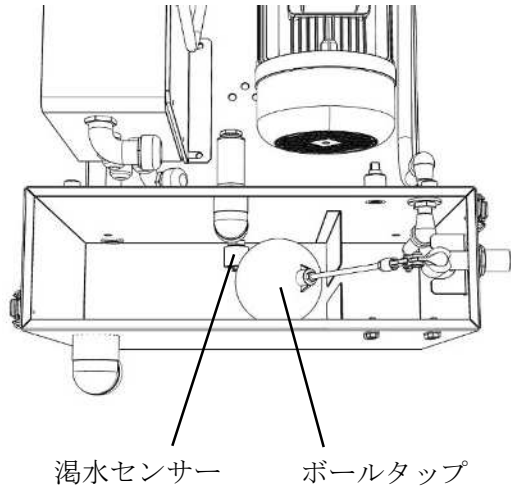


残圧抜き電磁弁が付いている場合（-SV型）

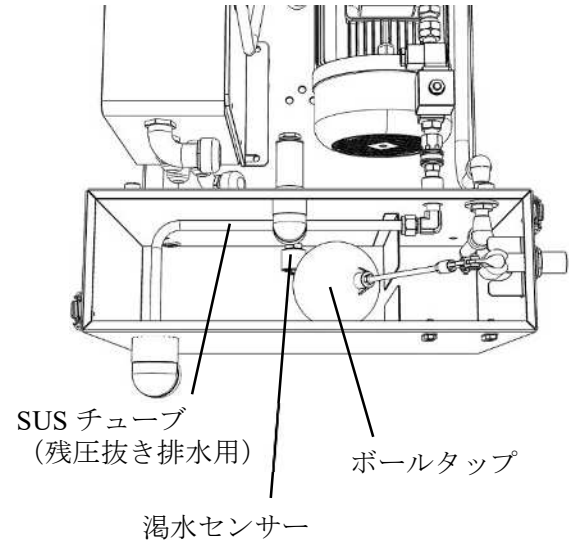


【給水タンク内部】

残圧抜き電磁弁が付いていない場合

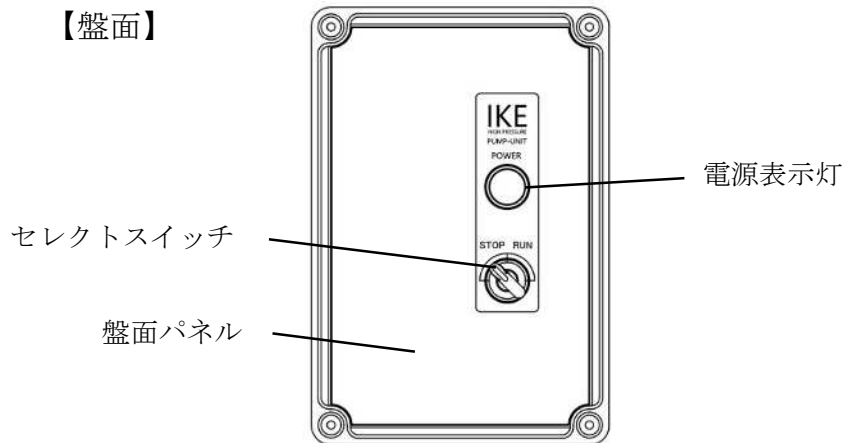


残圧抜き電磁弁が付いている場合（-SV型）

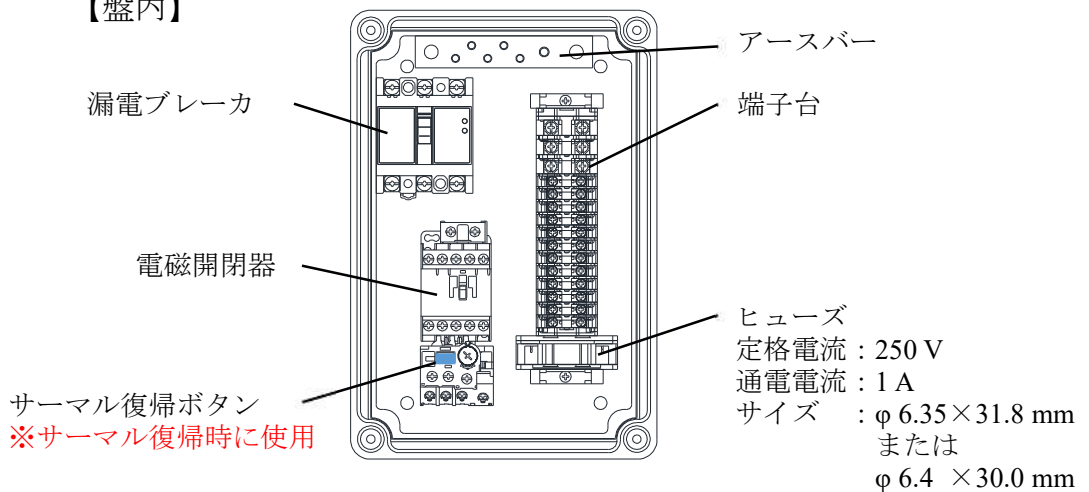


動力盤

【盤面】



【盤内】



付属品

- ・付属品ケーブル一式

付属品ケーブル詳細一覧

名称	線径 (mm ²)	芯数	長さ (m)	圧着端子サイズ	本数
制御盤電源用ケーブル	2.0	3	3	R2-3.5	1
ポンプ信号ケーブル (運転・正常・濁水)	0.75	7 (6)	3	Y1.25-3.5	1
電磁弁 (制御盤配線) 用ケーブル	2.0	3	3	R2-3.5	1

※芯数に () で記載している数値は実際に使用する線数です。

※ケーブルは残圧抜き電磁弁がついていない場合、製品に付属しませんので、必要に応じてお客様にてご準備ください。

2. ご使用前の準備

2.1. 配管要領

(1) 給水配管の接続

本製品には水道水を使用してください。

吐出量^{※1}に見合った十分な水量を準備してください。

点検やメンテナンスのために、ポンプ一次側には必ず給水元バルブを設置してください。

給水タンクの給水口 (PJ1/2) にホースまたは配管をネジ接続^{※2}してください。

- ・給水口に平行ネジ (G1/2) を接続する場合は、パッキンを準備してください。
- ・給水口にテーパネジ (Rc1/2) を接続する場合は、目安としてシールテープを7~10回巻いてください。

※1：ポンプ吐出量は「6. 仕様」に型番別に記載しています。

※2：オプションのフィルターセットをご使用の場合は、フィルターセットへの配管接続となります。その場合は、フィルターセット付属の取扱説明書 (NKG24M162 (最新)) を参照のうえ、接続してください。

(2) 吐水配管の接続

ポンプの吐水口へ耐圧ホースをカップラ接続してください。

- ⊘ ポンプの吐水口には直接配管しないでください。ポンプの振動により配管が破断し、漏水するおそれがあります。

(3) 越流口、排水口の接続

本製品には以下の場合に周囲へ水を漏らすことなく排水するための越流口が付いています。

- ・専用制御盤を使用してポンプからノズルまでの配管の圧力を抜く場合
- ・給水タンク付属のボールタップに不具合が生じて止水不良となった場合

また、排水口はメンテナンス時に給水タンク内の水を排出する際に使用します。越流口および排水口に付属している樹脂キャップを外し、排水先までホースまたは配管で接続してください。なお、給水タンク内への逆流を防ぐため、排出先では大気開放としてください。

2.2. 動力盤の配線・設定方法

❗ 作業は必ず元電源を遮断した状態で行ってください。

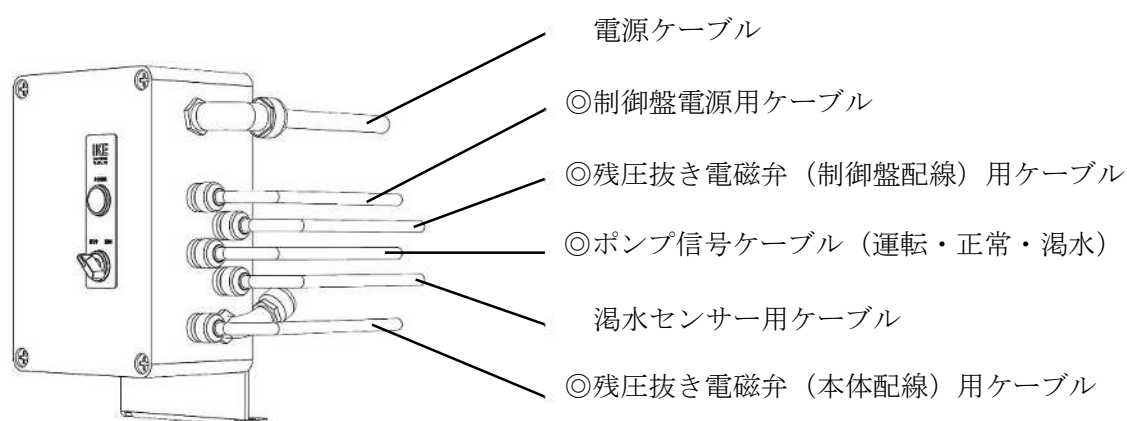
(1) 専用制御盤との接続

本製品は弊社製品の専用制御盤を用いて制御することもできます。その場合は、以下の手順に従い配線を行ってください。なお配線には専用制御盤の取扱説明書が必要となりますので、事前に準備してから作業を始めてください。

❗ 本項の作業は専門知識のある方が実施してください。

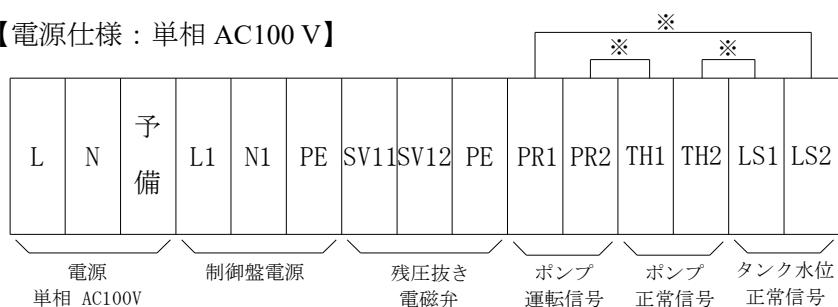
❗ 安全のため主電源配線前に専用制御盤との配線を完了させてください。

- ① 専用制御盤の取扱説明書を確認し、付属のケーブルを準備してください。
- ② 「3.2.(6) 凍結対策」記載の要領で上部のカバーを取り外してください。
- ③ 動力盤の4つのネジを緩めて、盤面パネルを開いてください。
- ④ ポンプ背面の配線口のグロメットに十字に切り込みを入れて、配線用ケーブルを差し込んでください。
- ⑤ 差し込んだケーブルは動力盤側面のケーブルグランドを通して、盤内に引き入れてください。(◎のケーブルのみ)

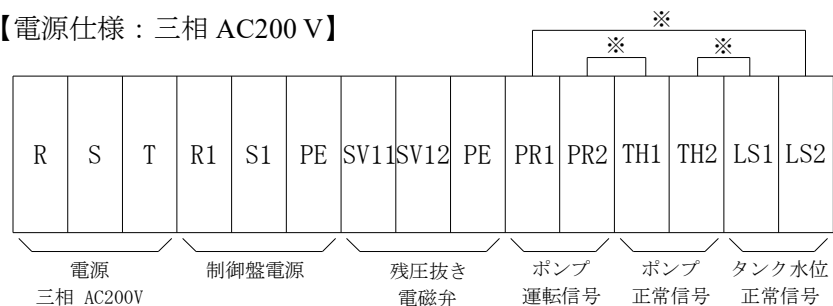


⑥ 専用制御盤の取扱説明書に従い、動力盤内部の端子台に配線してください。

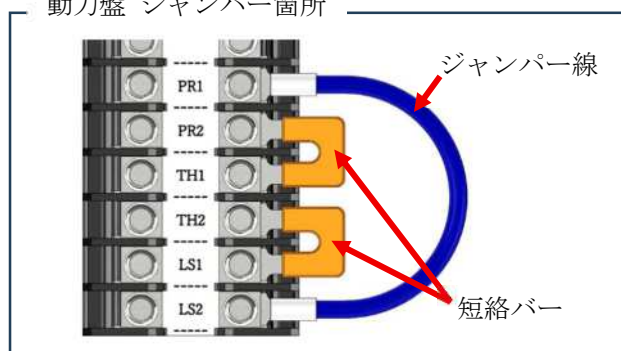
【電源仕様：単相 AC100 V】



【電源仕様：三相 AC200 V】



動力盤 ジャンパー箇所



※部には上記のようにジャンパー線と短絡バーを接続しています。

専用制御盤と配線する場合は、すべて取り除いてください。

- ⊘ 制御盤電源の端子台は専用制御盤以外と繋がらないでください。
- ⊘ 制御盤電源用ケーブルの切断および付属のケーブルを外して別のケーブルに付け替えることは禁止です。ケーブルの長さ調整が必要な場合は、制御盤への電源供給は別電源にて行ってください。

⑦ 配線後に動力盤の盤面パネル、上部のカバーを元に戻してください。

⚠ 盤面パネルを閉じる際は、配線を挟み込まないように注意してください。

(2) 電源供給線の接続

AC100 V はポンプ付属電源ケーブルの、電源コンセントプラグが挿せる状態としてください。(実際に挿すのは「2.4.(3) 電源供給」のタイミングとしてください。)

AC200 V は元電源を遮断した状態で、ポンプ付属電源ケーブルの末端に圧着端子またはコンセントプラグを取り付け、配線を行ってください。なお、配線完了後も、元電源は投入しないでください。

! 電源供給線と併せて必ずアースを接続してください。

! 電源ケーブルを延長する場合は、電圧降下を考慮し、適切な線径のケーブルを選定してください。

2.3. 確認作業

(1) オイル量確認

- ・ポンプ下部へオイル漏れが無いか確認してください。
- ・ポンプを水平にし、「4.2.(3) オイル交換手順⑥」に従い規定量のオイルが入っているか確認してください。

(2) 施工確認

ポンプを動かす前に以下の項目を確認してください。

- ・配管した箇所でネジのゆるみがないこと
- ・配線したケーブルが些細な引っ張りで外れないこと
- ・給水タンク下部の排水口バルブを閉じていること
- ・専用制御盤の配線が完了していること (専用制御盤を使用する場合のみ)

2.4. 動作確認

(1) 給水

給水元バルブを開いて給水し、以下の項目を確認してください。

- ・ボールタップで完全に止水でき、越流口からの排水がないこと
- ・給水タンクのフタが閉じてあること
- ・オプションのフィルターセットからの漏れがないこと (オプションご使用の場合のみ)

(2) バルブ開放

以下記載のバルブを開にしてください。

- ・吐水口バルブ
- ・圧力計バルブ (正面扉を開けて確認、操作してください)
- ・残圧抜き口バルブ (残圧抜き電磁弁が付いている場合のみ)

(3) 電源供給

動力盤盤面のセレクトスイッチが「STOP」になっていることを確認し、電源の供給を開始します。遮断していた元電源を供給してください。

電源供給により電源表示灯が点灯することを確認してください。

⊘ 専用制御盤ご使用の場合は、動力盤の電源供給と同時に専用制御盤内部の電源が供給されるため、制御盤を開けないでください。

(4) 専用制御盤設定

専用制御盤をご使用の場合は、専用制御盤の取扱説明書に従って運転のための各種設定を行ってください。設定後、専用制御盤の運転は「停止」や「切」としておいてください。

(5) ポンプ稼働

正面扉を開け、アンローダーのハンドルを反時計回りに回して、負荷が無くなるまで緩めてください。また、ポンプから水が出ても問題ないことを確認したうえで、下記の動作を行ってください。

! ポンプから水が出ると問題がある場合は、吐水口バルブを閉じて確認してください。ただし吐水口バルブを閉じた状態での運転は 10 秒以内としてください。

動力盤盤面のセレクトスイッチを「RUN」にしてください。専用制御盤が無い場合は、すぐにポンプが稼働し吐水口に昇圧水が送られます。専用制御盤をご使用の場合は、専用制御盤の取扱説明書に従い「自動運転」や「強制運転」でポンプを稼働させてください。

! ポンプが正常に稼働しない場合は、運転を停止し、「5. 故障かな? と思ったら」を確認してください。

(6) 運転状態確認

運転中に以下の項目を確認してください。

- ・ポンプユニットや配管、ホースから水漏れが無いこと
- ・異音・異臭・異常振動がないこと

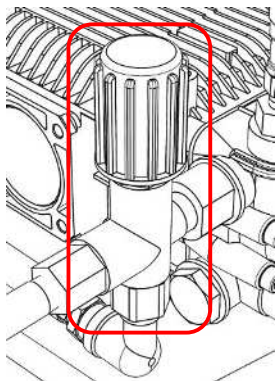
! ポンプ運転中に越流口（残圧抜き電磁弁）から少し水が排出される場合がありますが、異常ではありません。

(7) 圧力調整

圧力計を見ながら下図の通りアンローダーを回して 6.0 MPa に設定してください。

⊘ 6.0 MPa 以上の圧力には設定しないでください。

調圧方法



ハンドルを回して調整してください。

時計回り : 昇圧

反時計回り : 降圧

(8) 運転停止

専用制御盤が無い場合は、動力盤盤面のセレクトスイッチを「STOP」に戻してください。専用制御盤をご使用の場合は、専用制御盤側の操作にてポンプの運転を停止させてください。(その際、ポンプ動力盤盤面のセレクトスイッチは通常「RUN」のままとなります。)

(9) 圧力計バルブの閉止

圧力計の針が 0 MPa を指示し、圧力が抜けていることを確認した後で、圧力計バルブを閉めてください。(数分程度の時間がかかる場合があります。)

❗ 動作確認後は正面扉の鍵を閉め、管理責任者以外が触れないようにしてください。

❗ 鍵は点検やメンテナンスで必要となりますので、無くさないよう保管してください。

3. ご使用方法

3.1. 通常の運転要領

(1) 運転開始

専用制御盤が無い場合は、動力盤盤面セレクトスイッチを「RUN」にして運転開始してください。

専用制御盤をご使用の場合は、専用制御盤の取扱説明書に従って運転開始してください。

❗ 給水タンク内の水が少なくなると、渴水センサーが働きポンプが停止します。制御盤をご使用の場合は、制御盤を操作して異常を解除してください。制御盤がない場合は、動力盤盤面のセレクトスイッチが「RUN」の状態の水が供給されると自動復帰します。

(2) 運転停止

専用制御盤が無い場合は、動力盤盤面のセレクトスイッチを「STOP」にして運転停止してください。専用制御盤をご使用の場合は、専用制御盤の取扱説明書に従って運転停止してください。（その際、ポンプ動力盤盤面のセレクトスイッチは通常「RUN」のままとなります。）

運転を長期停止する場合は、漏水や滞留水中への雑菌繁殖、漏電事故を防止するため、引き続き「3.2. 長期停止時の要領」の実施も推奨します。

3.2. 長期停止時の要領

通常の運転要領で「運転停止」の操作を行った後に実施してください。

(1) 給水停止

給水元バルブを閉止し、給水を止めてください。

また、給水タンク内部のボールタップを手で押し下げて、給水配管の圧力を抜いてください。

(2) 給水タンク水抜き

排水口バルブを開き、給水タンク内の水をすべて抜いてください。

フィルターがある場合は、取扱説明書（NKG24M162（最新））を参照のうえ、フィルター内部の水を捨ててください。

(3) 吐水ホースの着脱

圧力計の針が 0 MPa を指示し圧力が抜けていること、ポンプから水が出ても問題ない環境であることを確認の上、吐水ホースを外してください。

! ポンプから水が出ると問題がある場合は、吐水ホースを接続したままにしてください。

(4) ポンプ水抜き

給水タンクのフタを開けて、湯水センサーを手で持ち上げてください。その状態でポンプを 5～10 秒程度空運転して、ポンプ内の水を全部抜いてください。また、ポンプ水抜き後は、アンローダーのハンドルを反時計回りに回して、負荷が無くなるまで緩めてください。

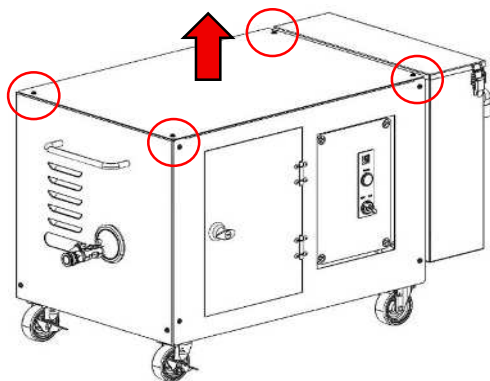
! 専用制御盤が無い場合は、動力盤盤面のセレクトスイッチを「RUN」に、専用制御盤をご使用の場合は、専用制御盤の取扱説明書に従い「強制運転」でポンプを稼働させてください。

(5) 電源遮断

動力盤盤面のセレクトスイッチを「STOP」にした後で、元電源を遮断してください。

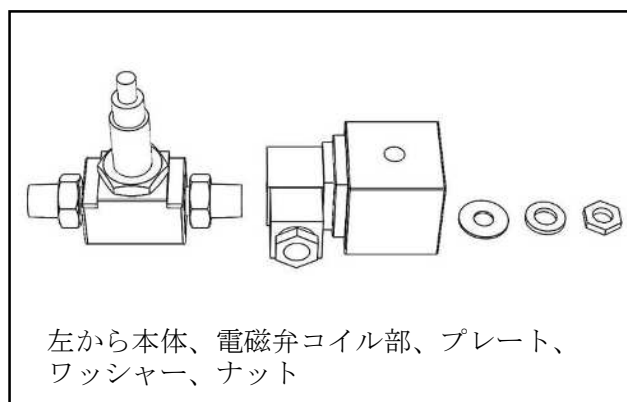
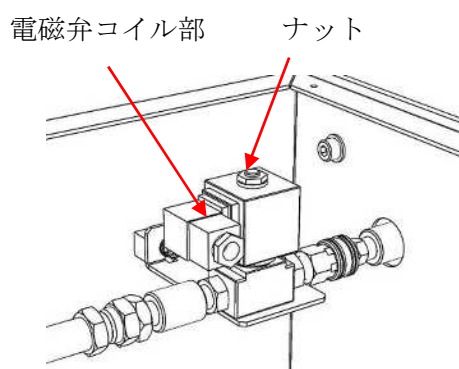
(6) 凍結対策

ポンプ設置場所の環境温度が低く凍結のおそれがある場合は、次の手順で破損リスクのある圧力計と電磁弁を取り外し、凍結のおそれがない室内（5℃以上）で保管してください。上部のカバーを固定している4箇所のネジを取り外して、カバーを取り外してください。

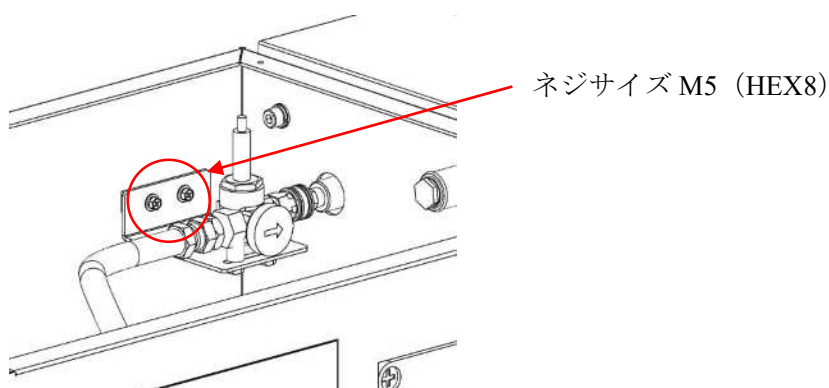


【残圧抜き電磁弁の着脱について】

- ① 残圧抜き電磁弁の電磁弁コイル部の上部のナットを取り外してください。
電磁弁コイル部を取り外し、ワッシャーなどをなくさないよう保管してください。
電磁弁コイル部の配線は外さずに濡れないようにポンプユニット内に置いてください。

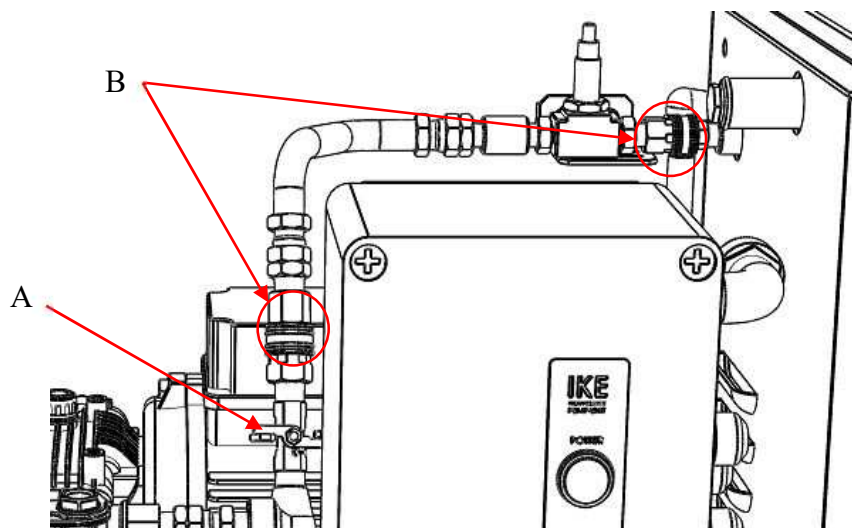


- ② 赤丸部のネジ2箇所を取り外してください。



- ③ Aの残圧抜き口バルブ閉じ、残圧抜き電磁弁を支えながらB赤丸部のカップラを取り外し、凍結のおそれがない室内（5℃以上）で保管してください。

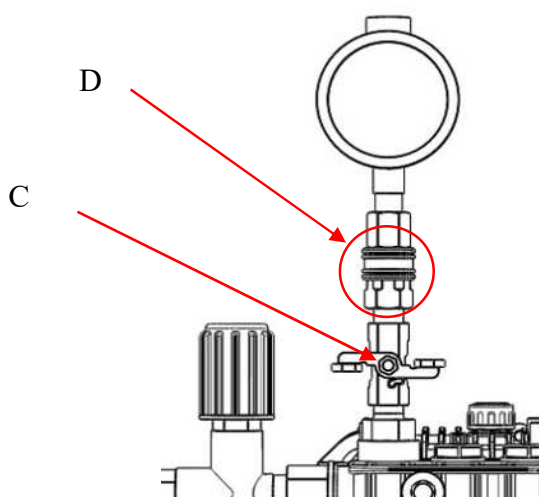
! 保管時は、電磁弁ユニット内にゴミ・ホコリなどが入らないよう電磁弁ユニットの接続口に養生テープを貼るか、袋などに入れてください。



【圧力計の着脱について】

! 圧力計の針が0 MPa 指示し、圧力が抜けていることを確認した後に取り外してください。

- ① Cの圧力計バルブを閉じ、D赤丸部のカップラを取り外し、凍結のおそれがない室内（5℃以上）で保管してください。



4. 保守・メンテナンスについて

4.1. 日常点検

(1) フィルター点検

オプションのフィルターセットをご使用の場合は、以下の目安でエレメント交換を実施してください。エレメント交換要領はフィルターセットの取扱説明書を確認してください。

- ・エレメント目詰まりにより給水量が減ってきた場合
- ・エレメントが変色（新品白色）し雑菌繁殖のおそれがある場合
（上記症状が無い場合でも1年に1回以上の交換を推奨します。）

(2) 漏れ点検

ポンプを停止させて、ポンプユニットの下部に水やオイルの漏れが無いか点検してください。漏れがある場合は、ポンプの補修が必要になりますので弊社までご相談ください。

(3) オイル点検

オイル確認用穴のグロメットを外し、オイルの状態について以下の項目を点検してください。

- ・オイル量が規定範囲内であり、減少していないこと
- ・水分混入などにより、オイル量が異常に増加していないこと
- ・オイルの色に異常（黒化、白濁）がないこと

上記項目に異常が認められた場合は、ポンプの補修または交換が必要となるため、弊社までご相談ください。

4.2. オイル交換の方法

(1) オイル交換目安

以下の目安に従い、オイル交換を実施してください。

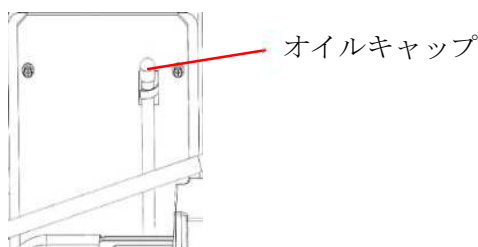
- ・初回のみ稼働後 50 時間で交換、その後は 500 時間稼働ごとに交換してください。
- ・稼働時間が達していない場合でも1年に1回の交換を推奨します。
- ・ポンプを水平にし、オイルが入っているか確認してください。

(2) オイル交換前の準備

- ① 動力盤盤面のセレクトスイッチを「STOP」とし、元電源を遮断してください。
- ② 「3.2.(6)凍結対策」を参照し、上部のカバーを外してください。
- ③ ポンプが水平であることを確認し、交換手順に移ってください。

(3) オイル交換手順

- ① ポンプ上部のオイルプラグを取り外してください。
- ② 正面扉を開けてオイルチューブを取り出してください。
- ③ その後、オイルキャップを取り外し、容量1Lの適当な容器でオイルチューブの先を受けながら、オールドレンバルブを開いてオイルを抜いてください。



動力盤背面

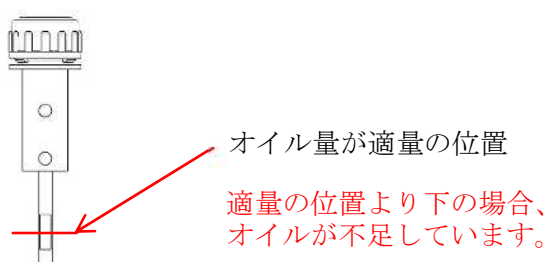
- ④ 抜き終わりましたら、オールドレンバルブを閉じてオイルキャップを取り付けた後、オイルチューブを元の位置に固定してください。
- ⑤ オイルプラグを外した箇所から、漏斗などを用いてオイルを注入してください。オイルの種類と量は下表の通りです。

オイル仕様	SAE 10W30
注入量 (目安)	0.6 L

- ⑥ 注入後にオイル量を確認し、不足している場合は、さらにオイルを注入してください。

オイル量の確認方法

オイルプラグについているオイルをふき取り、ポンプにオイルプラグを挿し込んだ後、適量の位置までオイルがついていることを確認してください。



- ⑦ 給油後、オイルプラグを取り付け、オイル交換完了です。

4.3. ポンプの消耗部品交換

ポンプ内部には消耗部品があり、ご使用条件により稼働時間 1000 時間以上で交換が必要となります。専門の作業者による作業となりますので、弊社までご連絡ください。

5. 故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処法
ポンプが動かない	電源が入っていない	コンセントプラグが挿さっているか、または元電源の供給を確認してください。
	給水タンク内に水が入っていない	給水元バルブを開いてください。「4.1.(1) フィルター点検」を確認してください。
	専用制御盤にエラー表示が出る	専用制御盤の取扱説明書を確認してください。
	専用制御盤の設定条件が適切でない	専用制御盤の取扱説明書に従い設定条件を調整してください。
	ポンプ本体からの水漏れやオイル漏れ	補修が必要なポンプ故障ですので、弊社までご連絡ください。
	濁水センサーが下がったままになっている	濁水センサーのフロート部が浮くように清掃して遺物を除去し、固着を解消してください。
	過電流で電磁開閉器が遮断されている	元電源を落としてから動力盤を開き、サーマル復帰ボタンを押してから再度電源供給してください。 技量ある方で原因確認の上で対処を行ってください。ポンプ要因であれば弊社までご連絡ください。
	電源供給のケーブルが細い、もしくはドラムリールを巻いたまま使用している	太いケーブルへの交換やドラムリールを延ばして使用してください。
ポンプの圧力が上がらない	ポンプ吐水側の配管、ノズルからの水漏れ	配管の補修やノズル交換を行ってください。
	残圧抜き電磁弁からの水漏れ	噴霧時に残圧抜き電磁弁から水が排出し続ける場合は、電磁弁の交換を行ってください。
	給水タンクとポンプ間のホースの詰まり、つぶれ	給水タンクに入った異物がポンプまでの給水路を詰まらせている場合は、除去してください。
	ポンプ内部部品が消耗し流量が少なくなっている	「4.3. ポンプの消耗部品交換」を推奨します。
	ポンプ内部の弁が固着している	給水タンク内の給水口を閉じ、勢いよく開放する動作を5、6回繰り返し解消させてください。 改善しない場合は、弊社までご連絡ください。
	圧力計バルブが閉じている	圧力計バルブを開けてください。
	長時間の使用による圧力計の破損	圧力計の破損を防ぐために点検時以外は圧力計バルブを閉じてください。 針が動かなくなる、または水漏れする場合は、交換してください。
越流口から水が出続ける	ボールタップが壊れている	「2.4.(1) 給水」の要領で確認し、止水しないようであればボールタップを交換してください。
	噴霧時の残圧抜き電磁弁の通水部からの水漏れ	電磁弁を交換してください。
異音や異常振動	ポンプの動作不良	程度や状態により対処が変わりますので、弊社までご相談ください。

6. 仕様

名称		IKE40C-2A-S1CN	IKE40C-2A-S1CN-SV
最高使用圧力		6.0 MPa	
吐出量 (6.0 MPa 時)	MAX	90 L/hr (50 Hz) 114 L/hr (60 Hz)	
	MIN	42 L/hr (50 Hz) 48 L/hr (60 Hz)	
電動機出力		0.4 kW	
定格電流		12.6 A (50 Hz) 9.0 A (60 Hz)	
電源		AC100 V (単相) 50 / 60 Hz	
残圧抜き電磁弁		なし	あり
使用環境温度		5 °C ~ 40 °C	
使用液 使用液温度		水道水 5 °C ~ 30 °C	
質量		75 kg (DRY) / 90 kg (WET)	80 kg (DRY) / 95 kg (WET)
補給油量		0.6 L	
給水タンク		ボールタップ (BT) 水道直結式 有効水量 = 約 15 L	

名称		IKE40C-2A-T2CN	IKE40C-2A-T2CN-SV
最高使用圧力		6.0 MPa	
吐出量 (6.0 MPa 時)	MAX	90 L/hr (50 Hz) 114 L/hr (60 Hz)	
	MIN	42 L/hr (50 Hz) 48 L/hr (60 Hz)	
電動機出力		0.4 kW	
定格電流		2.8 A (50 Hz) 2.4 A (60 Hz)	
電源		AC200 V (三相) 50 / 60 Hz	
残圧抜き電磁弁		なし	あり
使用環境温度		5 °C ~ 40 °C	
使用液 使用液温度		水道水 5 °C ~ 30 °C	
質量		75 kg (DRY) / 90 kg (WET)	80 kg (DRY) / 95 kg (WET)
補給油量		0.6 L	
給水タンク		ボールタップ (BT) 水道直結式 有効水量 = 約 15 L	

株式会社 **いけうち**
<https://www.dry-fog.com/>

〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座 1-15-15 第一協業ビル
Tel : 0120-997-084 Fax : 06-6538-4023 E-mail : mist@kirinoikeuchi.co.jp

各地の営業所情報はこちらをご参照ください。

<https://www.dry-fog.com/jp/corporate/location/>